Atsuko Kudo Mail Magazine183

2012.03.29　●My Passion Week

● 私の受難週

お元気でいらっしゃいますか？
ハンブルクは、一週間ほど前から気温がかなり上昇し、青空の広がる素晴らしいお天気が続いていましたが、今日は残念ながら雨です。けれども庭の鳥たちが、実に美しい歌声を響かせています。

皆様にお祈りいただいた賛美資料の翻訳を何とか終えることができました。といっても、非常に専門的な内容のため、時間をかけて見直し、推敲・整理して行きたいと思っています。また、新たな賛美の資料も見つかりました。４月から賛美コンサート活動が始まりますが、許される中で時間を割きながら、学びを続けて行きたいと思っています。

実はこの３月、ハンブルクを吹き荒れたウイルスに感染し、しばらく体調不良の日々が続きました。それでも、もちろん思うようにとはいきませんでしたが、主がその日、その時に与えてくださった力に応じて、十分な休息を入れつつ、学びやコンサートの準備を進めて来ることができました。

日本には、４月６日の受難の金曜日（ドイツ語で、カール・フライターク）に向かうことになりました。そのため、今年は、旅行の準備でじっくり主の受難と共に過ごすことが出来ないと思い、一足早い先週から、毎朝、主の受難の足跡を辿ることにしました。

8 年前に、ダルムシュタット市にあるマリア福音姉妹会で過ごした受難週を、今でも忘れることができません。その思い出は、拙著「賛美のこころ」にも記させていただいていますが、受難の主のもとに来ることを通して、悔い改めに導かれ、心砕かれ、イエス様の湧き上がるような愛に触れたことを、今もよく思い出します。

今年の私の受難週は、**「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここを離れないで、わたしといっしょに目をさましていなさい。」（マタイ 26：38）**と弟子たちに懇願したイエス様のことばに数日とどまり続けています。

このイエス様の死ぬほどの悲しみのうめきが、今、もっと聞こえてくるようになりました。十字架に架かる前に、イエス様は人として、すでに死ぬほどの悲しみを通られたからこそ、私たちの悲しみ苦しみを完全にお知りになり、溢れんばかりに慰めてくださることの出来るお方であることを思わされています。

神は、どのような苦しみのときにも、私たちを慰めてくださいます。（Ⅱコリント 1:4）

5 月には、被災地でコンサートをさせていただきます。

「1 年という『区切り』が過ぎました。でも『区切り』というのは外からの視点であることを思わされています。被災地に置かれた方々にとっては変わらず先の見えない状況が続いており、『忘れられる』ことを恐れている方々がたくさんおられます。」・・・昨日、現地から届いたメールです。

キリストの愛を通して、被災地の方々の痛みと苦しみに少しでも近づかせていただければと思っています。

そして、無力なこの者に、御霊に力を注いでいただいて、現地の方々にキリストの慰めと、十字架を通してもたらされた永遠の救いをお届けしたい、それが、マタイ 26：38 にとどまりながら、今、心から願わされていることです。お祈り下さい。

（写真：先日、ハンブルクの教会で被災地の状況を説明させていただきました。その後、教会員たちが熱い祈りを捧げてくれました。欧州には、今では、被災地の情報はほとんど入って来ません。伝え続けて行く大切さを覚えました。）

●ミャンマーのためにお祈りください

5 月に予定しているミャンマーでのコンサートの準備も着々と進んでいます。特にオーガナイズのために祈りとエネルギーを注いでおられる M さんに、絶えず上からの力と知恵が与えられますように。言葉の壁を越えて、奉仕者すべてが御霊の一致をもって主に仕え、心から主に向かって賛美し、主の栄光が現されるコンサートとなりますように。

AKWM のチャリティーコンサートとその他の団体、個人の支援によって昨年建築が完成した孤児院を訪問します。子供たちに会えることを何よりも楽しみにしています。家の日々の必要が満たされますように。子供たちが恵みの中で成長し、主を信頼して歩んで行くことができますように。

● ４月、５月の予定

４月６日（金）ドイツ→日本（翌日日本到着）
４月１５日（日）春のコンサート
５月２日（水）～7日（月）、「ミャンマー、タイ」
※５月４日（金）ヤンゴンにて賛美コンサート
５月 18 日（金）被災地コンサート（大船渡市・カメリアホール）
５月 19 日（土）被災地コンサート（宮古市・グリーンピア三陸宮古　体育館）
５月 24 日（木）日本→ドイツ

麗しい季節、皆様の上に、主の溢れる祝福が共にありますように！

Atsuko Kudo